

第6回 く家族を歌うく河野裕子短歌賞 家族の歌・愛の歌 入賞

河野裕子賞 家族の歌・愛の歌

バイト先でピザ焼く吾子をのぞき見つあいつあんなふうに笑うんだなあ

熊本市中央区 垣野 俊一郎

育みの短歌賞

食卓に今日を広げて話す子に「ほんまや」「そやね」とご飯をよそう

兵庫県南あわじ市 山田 恵子

「恋の歌愛の歌」賞

かじかざわ  
鰻沢の駅のベンチに寝ころんでそれぞれの山を見ていた七月

滋賀県大津市 海野 久美

選者賞 永田和宏選

産みし子と産まざりし子と産めざりし子のあり月が蒼く透けゐる

山口県萩市 澤井 潤子

選者賞 池田理代子選

まさびしき大きさと云わんひとり分の羹作るによき父の鍋

山口県光市 瀬戸内 光

選者賞 俵万智選

おと と子が囁くときにかすかなる車輪の音は遠ざかりゆく

京都市南区 吉田 典

選者賞 東直子

我が膝に置かれし子の手の温もりをバスの終点まで載せてゆく

徳島県阿南市 坂東 典子

産経新聞社賞

われにまだ五人家族の夏があり西瓜ざくつと切り分けている

兵庫県西宮市 甲斐 直子

京都女子大学賞

取り混ぜて力の素を煮込みをり姉に届ける赤きラタトウイユ

大阪府寝屋川市 三宮 サダ子

京都府知事賞

電話する程じゃないけどしゃべりたい例えば膝を擦りむいたとか

京都市西京区 大井 亜希

京都市長賞

のどもとに熱き固まりこみあげる母親だってできそこないだ

兵庫県神戸市垂水区 竹田 典子

湖南市長賞

一度だけ君を口説いたことがある遺影がウフッと笑ったような

徳島県阿南市 小畑 定弘

京都女子学園長賞

洗濯をするたびちぢんでいくやうな木綿のやうな母でした

鳥取県西伯郡南部町 加納 慧子

『短歌』編集部賞

母眠る山墓までの道すがらつんつんくるくる彼岸花咲く

福島県福島市 大槻 弘

NHK出版賞

花見上げ母と歩きしふるさとの帰還困難区域のゲート

秋田県大仙市 鈴木 仁

短歌研究社賞

内角低めにストンと落ちていくスローカーブを君に投げたい

埼玉県和光市 岩崎 雄大

青磁社賞

この夏を遮り無り冷やすかのごとく雨しぶきおる母の臥す窓辺

北海道室蘭市

中村

英俊

第6回 く家族を歌うく河野裕子短歌賞 《青春の歌》 入賞作品

河野裕子賞 青春の歌 高校生

読みかけの文庫のように連れてって休日  
の君もつと知りたい

福岡県立修猷館高等学校 埋金 桜子

河野裕子賞 青春の歌 中学生

甲高く気合い轟く道場に竹刀を逃れ飛行する蜂

東京・学習院女子中等科 柏原 千華

選者賞 島田幸典

毎朝の小さくつぶやくあいさつを家族みんなは聞き逃さない

京田辺市立田辺中学校 前田 聖奈

産経新聞社賞

積み上げた洗濯物に顎を乗せ君が寝ているスフィンクスのごと

愛媛県立松山東高等学校 加川 遥日

京都女子大学賞

大切にしていることが消えてゆくゆうべの夢に少しおびえる

青森県・三沢市立堀口中学校 須藤 愛

京都府知事賞

大嫌いそう言って今日窓の外目で追う先はけんかした君

大阪市立堀江中学校 森山 陽香

京都市長賞

友情はこんなに悲しいものなのか言い争いしてはじめて気付く

大阪市立堀江中学校 知念 輝

湖南市長賞

旅行帰り車の中でただ一人まぶたを閉じず運転する父

兵庫県・甲南女子中学校 石田 花怜

京都府教育長賞

物言わぬ冷ぼう機を見て思い出す留年決まった友のその顔

広島県・呉工業高等専門学校 平田 雄基

京都市教育長賞

ロボコン部一番乗りして作業する命吹き込み今動き出す

同・呉工業高等専門学校 登世岡 佑真

湖南省教育長賞

「頑張ろう」あなたが送ったこの四文字ちゃんと聞かせてあなたの声で

広島県立世羅高等学校 中山 いちご

京都女子学園長賞

登下校蜂がいつぱい怖いけど蜂は私を怖がっている

セントヨゼフ女子学園中学校 岡崎 英里

『短歌』編集部賞

デッサンの一つの線は迷いなく濃く確実に形をつくる

静岡市立清水第七中学校 伊藤 智哉

NHK出版賞

鏡前身長伸びた？と笑う母並べる肩の高さは同じ

学習院女子高等科 森谷 日向子

短歌研究社賞

いつになく小さく見えるその背中大人って何子どもって何

学習院女子高等科 五十嵐 美柚

青磁社賞

友人の飲み残したる炭酸水アスファルトに濃く虹を描きおり

福岡県立明善高等学校 原田 真緒